

ネコノトピア・ネコノマニア (1990)

メディア TV

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

1990/05/02 ~

TV放映 水曜日
22:00~23:20
日本放送協会

【解説】

登校拒否を続ける女子高生・頼子は、夜の街をあてどなくさまよい、“猫”の署名で 駅の伝言板に思いつきを書きなぐったりしている毎日だ。ある夜、学校に入り込んだ頼子は、校庭で走っている菅野という少年と逢う。菅野は家出中の少年で、普段は脚をギブスで被って過ごしていた。菅野と奇妙な共同生活をしているのが上田という中年。上田は路上で犬猫を商い、有金は競馬につぎ込んでしまういい加減な中年で、やはり妻子を残して家出したらしかった。なんとはなしに一緒に過ごすようになる三人。犬猫の問屋として向かった家で、頼子はたくさんの猫と暮らす老女と逢う。彼女は伝言板の“猫”の少女に親近感を抱いているらしかった。

NHKスペシャル枠の「ニューウェイヴドラマ」の中の一作として放送された作品。好評で、翌年にはビデオ化された。ノベライズは、写真を織り込んだ美しい絵本のように作ってあった。そういった点からみても非常に大切に扱われた作品、なわけだが、それ以上にドラマとしても文句無しの傑作である。いい加減な大人を演じて妙に光る萩原健一、怪しげで謎めいた老女・岸田今日子の二人も嬉しいが、主人公の工藤夕貴、屈託のある少年役真木蔵人もやはり納得のキャスティングである。彼等が街の死角のような場所をさまよい、何をするでもなく確かに生きている様はまさに“猫”と呼ぶのがふさわしい。ラストはさりげなくもなかなか衝撃的だが、やはり生き続けるだろう“猫たち”を感じさせる。

【クレジット】

演出 木村淳

制作 高橋康夫

脚本 藤田一朗

木村淳

撮影 小高文夫

音楽 小野誠彦

出演 工藤夕貴 Youki Kudoh

真木蔵人

岸田今日子

萩原健一